



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年8月9日

東

上場会社名 サイオス株式会社 上場取引所
 コード番号 3744 URL <https://www.sios.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	8,066	11.2	△106	—	△78	—	△176	—
2022年12月期第2四半期	7,256	△10.2	△225	—	△207	—	△339	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 △134百万円(—%) 2022年12月期第2四半期 △239百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	△20.34	—
2022年12月期第2四半期	△39.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	6,114	1,033	15.5
2022年12月期	6,022	1,243	19.4

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 947百万円 2022年12月期 1,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2023年12月期の配当予想額は未定であります。

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2023年12月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的に算定することが極めて困難であることから、未定としております。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 2 Q	8,874,400株	2022年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	205,838株	2022年12月期	205,838株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 2 Q	8,668,562株	2022年12月期 2 Q	8,668,562株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 本資料に記載されるサービス・商品名等は、当社又は各社等の登録商標又は商標です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<当第2四半期連結累計期間の概況>

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が緩和されつつあるものの、地政学的リスクの高まりによる原材料価格の高騰、世界的な金融引き締めによる為替相場の変動等により、世界経済は依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況において当社グループは、事業構造改革による収益基盤の改善を進めつつ、SaaS(*1)をはじめとするクラウド関連製品・サービスを拡大させ、顧客のDX(*2)に資する最適なソリューションを提供してまいります。

当第2四半期連結累計期間の各セグメントの業績は、次の通りとなりました。

① オープンシステム基盤事業

半導体不足の解消に伴い、ハードウェアの需給が緩和し、オンプレミス向けの製品・サービスが復調傾向となりました。この結果、Red Hat Enterprise Linux(*3)をはじめとするRed Hat, Inc. 関連商品(*4)は好調な増収となりました。また、主力自社製品である「LifeKeeper」(*5)はオンプレミス向けの復調に加え、クラウド向けも伸ばしたことから堅調な増収となりました。これらにより、売上高は4,999百万円（前年同期比16.2%増）、セグメント利益は56百万円（同270.2%増）となりました。

② アプリケーション事業

金融機関向け経営支援システム販売は減収となりました。一方、システム開発・構築支援はAPI(*6)関連や証券系業務システムの案件が増加したことにより好調な増収となりました。また、「Gluegentシリーズ」(*7)も順調な増収となりました。これらにより、売上高は3,060百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

利益面では、増収により前年同期比で改善したものの、人件費の増加、Med Tech(*8)事業を中心に新製品・サービスへの投資を強化したことにより、セグメント損失は169百万円（前年同期は246百万円の損失）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,066百万円（前年同期比11.2%増）、営業損失は106百万円（前年同期は225百万円の損失）、持分法による投資利益の計上により経常損失は78百万円（前年同期は207百万円の損失）となりました。また、減損損失及び事業譲渡損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は176百万円（前年同期は339百万円の損失）となりました。

当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）とROIC（年率換算数値、税引後営業利益÷（株主資本+有利子負債））は、次の通りとなりました。

EBITDA：△60百万円（前年同期は△157百万円）

ROIC（年率換算数値）：△11.8%（前年同期は△16.1%）

(*1) SaaS

Software as a Serviceの略。ソフトウェアをクラウドサービスとして提供すること。

(*2) DX

デジタルトランスフォーメーションの略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

(*3) Red Hat Enterprise Linux

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc. が開発するLinux OS。

(*4) Red Hat, Inc. 関連商品

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc. が開発するオープンソースの製品。

(*5) LifeKeeper

本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。

(*6) API

ソフトウェアやアプリケーション同士が互いに情報をやり取りするための仕組み。

(*7) Gluegentシリーズ

IDの管理をクラウドで行うサービス「Gluegent Gate」をはじめ、クラウド型ワークフローの「Gluegent Flow」、Google Calendarにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Appsグループスケジューラ」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(*8) Med Tech

Medical（医療）とTechnology（技術）を組み合わせた造語。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、現金及び預金の増加211百万円等の要因により、5,331百万円（前連結会計年度末比2.6%増）となりました。

固定資産は、ソフトウェア仮勘定の減少29百万円等の要因により、778百万円（同5.4%減）となりました。

この結果、総資産は、6,114百万円（同1.5%増）となりました。

②負債

流動負債は、契約負債の増加304百万円等の要因により、4,674百万円（前連結会計年度末比7.8%増）となりました。

固定負債は、長期借入金の減少33百万円等の要因により、406百万円（同7.9%減）となりました。

この結果、負債合計は、5,081百万円（同6.3%増）となりました。

③純資産

純資産合計は、利益剰余金の減少263百万円等の要因により、1,033百万円（前連結会計年度末比16.9%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2023年2月2日に公表した「2022年12月期 決算短信」に記載の通り、事業構造改革の実施及びクラウド関連事業の拡大により、収益基盤の改善を進めております。

2023年上半年期においては、当社グループ内の人材配置の最適化及び事業の選択と集中を実施しました。引き続き事業構造改革を実行中であるため、2023年12月期通期業績予想については合理的に算定することが困難であり、非開示としております。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,505,766	2,717,533
受取手形、売掛金及び契約資産	2,028,395	2,090,908
商品	13,558	5,858
仕掛品	13,267	519
前渡金	272,047	336,982
その他	362,291	180,321
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	5,195,125	5,331,924
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	50,131	40,958
その他（純額）	62,699	49,652
有形固定資産合計	112,830	90,611
無形固定資産		
ソフトウェア	48,496	44,996
ソフトウェア仮勘定	29,879	—
その他	1,441	1,441
無形固定資産合計	79,817	46,437
投資その他の資産		
投資有価証券	380,634	387,647
退職給付に係る資産	50,635	58,156
差入保証金	127,063	123,555
その他	76,225	76,225
投資その他の資産合計	634,558	645,584
固定資産合計	827,206	782,633
資産合計	6,022,332	6,114,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,084,110	1,087,512
1年内返済予定の長期借入金	66,000	66,000
リース債務	29,700	12,732
未払法人税等	—	29,498
契約負債	2,760,665	3,064,894
その他	396,729	413,859
流動負債合計	4,337,206	4,674,498
固定負債		
長期借入金	115,500	82,500
退職給付に係る負債	302,712	301,928
リース債務	11,746	9,095
長期預り金	11,632	11,632
その他	—	1,352
固定負債合計	441,591	406,508
負債合計	4,778,798	5,081,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
利益剰余金	△130,975	△393,989
自己株式	△87,254	△87,254
株主資本合計	1,263,289	1,000,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,147	8,964
繰延ヘッジ損益	—	2,557
為替換算調整勘定	△100,273	△64,450
その他の包括利益累計額合計	△95,125	△52,928
新株予約権	75,369	86,204
純資産合計	1,243,534	1,033,551
負債純資産合計	6,022,332	6,114,558

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	7,256,374	8,066,359
売上原価	4,958,021	5,400,782
売上総利益	2,298,353	2,665,577
販売費及び一般管理費	2,523,635	2,771,581
営業損失(△)	△225,282	△106,003
営業外収益		
受取利息	2,586	4,350
デリバティブ評価益	94,202	34,821
持分法による投資利益	25,120	26,424
その他	6,236	4,983
営業外収益合計	128,145	70,579
営業外費用		
支払利息	838	816
投資事業組合運用損	4,450	5,601
為替差損	105,445	36,264
その他	—	0
営業外費用合計	110,735	42,681
経常損失(△)	△207,872	△78,106
特別利益		
固定資産売却益	—	88
特別利益合計	—	88
特別損失		
関係会社株式評価損	—	10,435
減損損失	29,074	30,201
固定資産除却損	767	123
事業譲渡損失	—	27,933
特別損失合計	29,842	68,693
税金等調整前四半期純損失(△)	△237,714	△146,711
法人税、住民税及び事業税	24,685	29,616
法人税等調整額	77,489	—
法人税等合計	102,174	29,616
四半期純損失(△)	△339,888	△176,327
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△339,888	△176,327

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△339,888	△176,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,657	3,816
繰延ヘッジ損益	—	2,557
為替換算調整勘定	94,181	35,240
持分法適用会社に対する持分相当額	66	581
その他の包括利益合計	99,904	42,196
四半期包括利益	△239,984	△134,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△239,984	△134,131

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△237,714	△146,711
減価償却費	67,311	45,570
減損損失	29,074	30,201
事業譲渡損益(△は益)	—	27,933
受取利息及び受取配当金	△3,492	△4,948
支払利息	838	816
投資事業組合運用損益(△は益)	4,450	5,601
持分法による投資損益(△は益)	△25,120	△26,424
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	110,911	△44,309
棚卸資産の増減額(△は増加)	77,602	19,012
仕入債務の増減額(△は減少)	△321,676	3,401
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	20,685	△784
契約負債の増減額(△は減少)	220,933	229,276
前渡金の増減額(△は増加)	8,687	△64,935
未払消費税等の増減額(△は減少)	△143,976	67,906
その他	△2,980	77,972
小計	△194,464	219,580
利息及び配当金の受取額	9,067	12,720
利息の支払額	△838	△816
法人税等の還付額	40,802	45,078
法人税等の支払額	△73,194	△17,343
営業活動によるキャッシュ・フロー	△218,628	259,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,476	△7,056
無形固定資産の取得による支出	△18,354	△7,358
差入保証金の差入による支出	△418	△506
差入保証金の回収による収入	95	47,648
投資有価証券の取得による支出	△45,000	—
貸付金の回収による収入	—	6,748
デリバティブ取引による収入	—	103,840
事業譲渡による支出	—	△26,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,155	117,165
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△129,272	△86,135
長期借入金の返済による支出	△61,560	△33,000
その他	△3,047	△20,544
財務活動によるキャッシュ・フロー	△193,880	△139,679
現金及び現金同等物に係る換算差額	88,154	△24,938
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△410,509	211,767
現金及び現金同等物の期首残高	3,148,805	2,505,766
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,738,295	2,717,533

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,303,677	2,947,285	7,250,962	5,411	7,256,374
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,996	3,996	△3,996	—
計	4,303,677	2,951,282	7,254,959	1,414	7,256,374
セグメント利益 又は損失(△)	15,331	△246,024	△230,693	5,411	△225,282

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
6,879,442	248,178	81,875	46,877	7,256,374

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「アプリケーション事業」セグメントにおいて29,074千円の固定資産の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,999,873	3,060,185	8,060,059	6,300	8,066,359
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,864	2,864	△ 2,864	—
計	4,999,873	3,063,049	8,062,923	3,435	8,066,359
セグメント利益 又は損失 (△)	56,756	△ 169,060	△ 112,304	6,300	△ 106,003

(注) セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
7,649,805	279,667	87,349	49,536	8,066,359

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「アプリケーション事業」セグメントにおいて30,201千円の固定資産の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。